

よみきかせボランティアのための



# おすすめえほん

38号  
2021秋

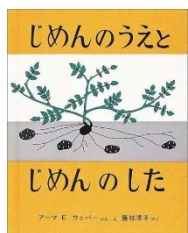
小学1・2年に  
おすすめ

## 『じめんのうえとじめんのした』

アーマ・E.ウエバー//ぶん・え 藤枝濤子//やく  
福音館書店(約4分)

知識

ポプラやナラの木、ニンジン、トウモロコシなど身近な植物について、それぞれの地面の上と下の特徴を、シンプルな言葉と絵で描く科学絵本。植物が日光と空気と土から栄養をつくり、動物はその植物のおかげで生きていることなど、自然界の有機的なつながりをわかりやすく伝えています。ひとつひとつの言葉が届くよう丁寧に読み聞かせしたい一冊です。



## 読み聞かせプログラムに取り入れたい 詩の本・うたの絵本

### 『かぞえうたのほん』

岸田衞子//作 スズキコージ//え  
福音館書店



「いちくん いちごのたねだけたべた にーくん にぼしのかはやきたべた」(へんなひとかぞえうた) など数え歌が6編収録。

## 『おおきくなりすぎたくま』

リンド・ワード//文・画 渡辺茂男//訳  
ほるぷ出版(約11分)

創作

小学3・4年に  
おすすめ

ある時、ジョニーくんは、森でこぐまに会い家に連れて帰ります。こぐまは、子ウシたちの牛乳や、リンゴ畑のリンゴ、朝ごはんのパンケーキなどなんでも食べて大きくなっていきます。そのうち、トウモロコシ畑や燻製室を荒らしはじめ、村の人たちの厄介者に。頁数の多い絵本ですが、文と絵がぴったりと合っていて、テンポよく読み進めることができます。

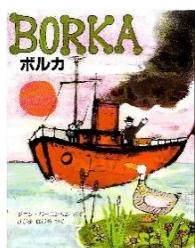


小学5・6年に  
おすすめ

## 『ボルカ はねなしガチョウのぼうけん』

ジョン・バーニンガム//さく 木島始//やく  
ほるぷ出版(約12分)

創作



ガチョウのポツテリピオン夫妻のヒナ 6羽のうちボルカだけは、生まれた時から羽が生えていなかったもので、他のヒナたちから仲間外れに。やがて冬が近づき、ガチョウたちは暖かいところに旅立ちますが、ボルカは飛ぶことができず、ひとりぼっちになってしまいます。定評のある絵本作家のデビュー作です。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

「子ども室」カウンターでも、質問などをお伺いしています。



[発行]  
福井県立図書館子ども読書推進室  
(2021.11 発行)  
〒918-8113 福井市下馬町51-11  
TEL. 0776-33-8860